



平成24年 7月 3日  
四国地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会の平成24年度総会及び第二部会(第1回定例会議)を下記のとおり開催しました。

総会では委員長の選任と委員長代理の指名及び各委員の部会所属の指名が行われました。(別添名簿のとおり) その後、第二部会の定例会議が開催されました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係)が平成24年1月から平成24年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した5件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

### 記

開催日 平成24年6月19日(火)

会場 高松サンポート合同庁舎 7階会議室

### 問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

技術審査官 佐野 正佳 (内線6216)

経理調達課長 小柳 芳秋 (内線6311)

品質確保室長 石井 譲治 (内線6413)

四国地方整備局入札監視委員会名簿

委員会役職	氏名	職業	所属部会
委員長 第一部会長	近藤 光男 <small>こん どう あき お</small>	徳島大学大学院教授	第一部会
委員長代理 第二部会長	小竹 望 <small>こ たけ のぞむ</small>	香川高等専門学校教授	第二部会
委員 第二部会長代理	関谷 利裕 <small>せき や とし ひろ</small>	弁護士	第二部会
委員	大西 均 <small>おお にし ひとし</small>	公認会計士	第一部会
委員	島 弘 <small>しま ひろし</small>	高知工科大学大学院教授	第一部会
委員	白井 一郎 <small>しら い いち ろう</small>	弁護士	第一部会
委員	三野 靖 <small>み の やすし</small>	香川大学教授	第一部会
委員	山田 伊知郎 <small>やまだ い ちろう</small>	香川大学大学院教授	第二部会

(委員は50音順:敬称略)

(注)第一部会は、港湾空港関係を除くものについて審議する。

第二部会は、港湾空港関係に係るものについて審議する。

別添1

四国地方整備局 入札監視委員会第二部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成24年6月19日(火) 高松サンポート合同庁舎7階会議室					
委員 (部会委員 3名)	部 会 長 小竹 望(高専教授) 委 員 関谷 利裕(弁護士) 委 員 山田 伊知郎(大学教授)				敬称略 委員は50音順	
審議 対象期間	平成24年1月1日～平成24年3月31日契約分					
審議案件	総件数 5件(工事2件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争入札 方式 (政府調達協 定適用対象工 事)	徳島小松島港沖洲(外)地区岸壁(- 8.5m)(耐震)築造工事(その2)	東洋・あおみ・みら い特定建設工事 共同企業体	1,657,950	4	87.4
	一般競争入札 方式 (政府調達協 定適用対象外 工事)	高知港三里地区防波堤(東第一) 築造工事(その2)	五洋・りんかい日 産特定建設工事 共同企業体	393,750	5	95.5
建設コン サルタン ト業務等	簡易公募型競 争入札方式	備讃瀬戸北航路(-19m)水路測量 等(その2)	国際航業(株)	14,700	7	82.3
	簡易公募型プ ロポーザル方 式	工事監督能力を向上させるデータ 通信システムに関する検討業務	(社)日本港湾協 会	17,955	1	100
役 務 及び物品	一般競争入札 方式	船舶(海面清掃兼油回収船)「みず ぎ」修理	(株)新来島徳島 どつく	21,315	2	99.9
報告事項	①指名停止の運用状況 ②談合情報等の対応状況 ③再度入札における一位不動状況 ④低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それらに対する回答等  
1. 抽出案件の審議概要

1. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象工事)

抽出案件	意見・質問	回答
徳島小松島港沖洲(外)地区岸壁(-8.5m)(耐震)築造工事(その2)	<p>・施工体制確認型の確認というのどのように行うのか。施工体制評価点との関係はどうなっているのか。</p> <p>・調査基準価格はどのように決まっているのか。</p> <p>・直接工事費というのどのように決まっているのか。</p> <p>・調査基準価格に満たないが、技術提案評価が高い入札者がいるが有効となる可能性はないのか。</p>	<p>入札価格が調査基準価格以上、予定価格以下の入札者は、施工体制確認書の提出をもって施工体制の確認としており、調査基準価格に満たない場合は、入札説明書にある「ヒアリングのための追加資料」を提出していただいてヒアリングを行い施工体制を確認している。施工体制評価点はその確認の結果により点を与えるということになっている。</p> <p>予定価格の基となる積算金額から算出する。具体的には、直接工事費は10分の9.5を乗じて、共通仮設費は10分の9を乗じてという形で機械的に額が決まっていく。</p> <p>港湾請負工事積算基準により算出しており、材料費、労務費、機械の費用等の直接かかる費用を積み上げたものが直接工事費となる。</p> <p>発注者の示した仕様を完成させるために最低必要な額であり、それ以下になると粗雑工事等の懸念がある。そういう観点で調査基準価格を設けている。</p>

2. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象外工事)

抽出案件	意見・質問	回答
高知港三里地区防波堤(東第一)築造工事(その2)	<p>・予定価格を超過した入札があるが、原因はなにが考えられるか。</p>	<p>今回の工事は防波堤にテトラポットがぶつかり穴が空いて中から砂が流出したものを修復するという、あまり例のない複雑な工事であったため、各社の見積金額にバラツキが出たものと考えられる。</p>

3. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回答
備讃瀬戸北航路(-19m)水路測量等(その2)	<p>・価格評価点の算出方法は。</p> <p>・技術評価点の小数点第4位まで出さないといけないというのは、価格評価点を小数点第4位まで出しているからか。</p> <p>・予定金額というのどのように決定しているのか。予定価格とどう違うのか。</p>	<p>価格評価点の満点に(1-入札価格/予定価格)を乗じたものを価格評価点としている。</p> <p>技術評価点、価格評価点とも小数点第4位まで、小数点第5位切捨と決まっており入札説明書に記載している。</p> <p>予定金額は発注前に発注等級を決めたりWTOになるかならないかを定めるためのものであり、過去の事例等を踏まえ大体どの程度費用がかかるかというもので、詳細に積算した予定価格とは違うものである。</p>

4. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回 答
<p>工事監督能力を向上させるデータ通信システムに関する検討業務</p>	<p>・現在のシステムの映像品質とデータ通信システムを目的とする映像品質とはどのようなものか。</p> <p>・業務の性質上、電気、電子、通信、情報系の技術が求められているような業務であるが、資格要件等どのように判断されたか。</p>	<p>現在のシステムは好天時には良く見えるが、事故や自然災害の時には必ずしも天候が良くないため映像が非常に見えにくい。また、リアルタイムで映像を送っているが綺麗なものでない。どういふものを目的とするかという、少し天気の悪い時でも現在のシステムでの好天で見えているような映像が見えるというイメージをしている。</p> <p>システムだけでなく、港湾という特殊な場所、船舶を使用した現場からの映像通信等、港湾をよくご存じの方が過不足のない映像が出るように、システムがわかって業務をしていただくということで発注している。複合的な技術力、港湾のことがよくわかっている方でおかつシステムがよくわかっている方、という意味で資格要件を設定している。</p>

5. 役務・物品 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
<p>船舶(海面清掃兼油回収船)「みずき」修理</p>	<p>・見積合わせとはなにか。</p> <p>・修理の種類はどうであったのか。普通修理であれば、これまでの実績と大きく変わらないのではないかと思う。1回目の入札金額が予定価格と300万円も違うのは、前回の修理費が影響していることが考えられるのか。</p>	<p>基本的に入札は2回という前提であるが、この案件は船舶の修理ということで落札者が決定しないと業務に支障が出るため入札2回で落札者が決定しない場合は不落随契の対象とし、見積合わせに移行することとしている。入札に参加された方すべての方を対象としている。見積合わせのやり方は、見積書を提示していただき、それが予定価格に達しているか、達していなければまた再度ということでそれを繰り返すということになる。</p> <p>入札者は前年度の実績を目安に考えている可能性はある。</p> <p>今回は中間修理であり、普通修理よりも金額は高くなる。なお、前回の修理費用は、3500万円であった。ただ、普通修理であっても船齢等によって修理費用は変わってくる。</p>